

**西区の温故知新！ひと・まち交流指針(素案)意見募集
実施結果**

**平成24年8月
西区役所**

西区の温故知新！ひと・まち交流指針(素案)意見募集実施結果の概要

1 実施概要

●実施期間

平成 24 年 4 月 27 日（金）～平成 24 年 5 月 26 日（土）

●対象

西区内在住、在学、在勤、来街者の方等

●意見提出方法

郵送（リーフレット付属はがき）、ホームページ、ファクス等

●リーフレット配布場所

西区役所、地区センター等の区民利用施設

2 意見提出状況

●提出者数・意見数

○西区在住＝ 20 通

○西区在学＝ 0 通

○西区在勤＝ 13 通

合計 ＝ 33 通

●提出方法

○ハガキによるご意見 ＝ 12 通

○HPを通じてのご意見 ＝ 5 通

○来課されてのご意見 ＝ 6 通

○地域のつどい等のご意見 ＝ 5 通

○企業説明を通じてのご意見 ＝ 5 通

3 いただいたご意見に対する対応

詳細は、次ページ以降のとおり

*いただいたご意見は、本冊子にまとめる都合上、主旨を変えない程度に要約・加筆・言い換えしている場合がありますのでご了承ください。

◆西区の温故知新！ひと・まち交流指針(素案)に対するご意見と西区役所の考え方

①あなたが知っている西区の魅力について教えてください。			
NO	関連頁	いただいたご意見	ご意見に対する西区役所の考え方
1	P26	横浜の玄関である横浜駅周辺や、急開発されているみなとみらい地区と、昔からの戸部地域や藤棚商店街など新旧が共存しているところ。	多彩な顔をもつ「まち」の空間と空間をつなぎ回遊性を高め、人々が思い思いに“お気に入り”の場所を見つけ、楽しみながらまちめぐりできる取組を進めていきたいと考えています。
2	P26	・西区内で欲しいものはほぼ手に入ること。 ・みなとみらいのような未来のまちと、戸部のような昭和のかおりのするまちが両方あるところ。	
3	P27	20歳～30歳までに他区に住みましたがやっぱり「西区」がいいと戻ってきました。歴史的に「人情のあるところ」だと思います。	住む人、働く人、訪れる人にとって安らげる「まち」となるよう取り組んでいきます。
4	P25	昨年末できた横浜ポルタ入口の三塔（ガラスオブジェ）は、とてもきれいです。	今後の取組の参考にさせていただきます。
5	P25	みなとみらい（横浜の港町らしい）景色を望めること。都会ではあっても公園が多く歴史があること。	西区に数多くある開港にまつわる歴史や自然などの地域資源について、西区に住み、働き、訪れる人が立場や年代を超えて楽しみながら学び、共有することでまちへの誇りと愛着を高め、さらなるまちの魅力アップにつなげていきたいと考えています。
6		歴史のあるところ	
7		横浜市の中心であり、日本有数の都市でありながら、多くの自然がある点、まちの人々が温かい。	
8		掃部山公園の桜、生き物、ながめの良さ、人と人との交流の場	
9		新しい魅力だけでなく、旧東海道を中心に歴史資産もある。	
10		海に開けている 気持ちのよい眺望	
11		大きな公園（掃部山公園・野毛山公園・臨港パーク）と内陸部の丘からの眺望	
12		開国の史実が市民の誇りとなっている 歴史的な建造物や資料などが多く楽しい	
13		平沼橋からの風景（MM、鉄道）	
14		ヨコハマ＝西区というくらい、地元の人にも説明しやすい立地！開港の歴史・造船の歴史等、日本の歴史をささえてきている。地域にはいまだ人情味のあるつながりがある（いい人がいっぱいいる）。	
15		西区は、横浜駅やMM地区だけでなく、文化施設や公園・川、歴史的資源、商店街や既成市街地の下町っぽさなど、たくさんの魅力がある区だと思うので、それらがうまくつながっていくと更に魅力がアップしていくと思います。	
16	水道道の急こう配の坂		

17	P28	高度な専門店が集積している商店街	昔ながらの人情あふれる地域の商店街、都心部の新しい商業施設など、それぞれの地区の個性を活かした商店街をめざした取組を進めていきます。
----	-----	------------------	--

②区制70周年、その先にむけてみんなの交流を深めていくための取組のアイデアをお聞かせください。

NO	関連頁	いただいたご意見	ご意見に対する西区役所の考え方
18	P28	昔からの商店街が世代交代などや新たな商業施設の増加でシャッターを閉めている店舗が増えている中、個性を生かして元気になることは、地域の活性、つながりづくりになります。「にしく名達の会」は地域の活性化とつながりづくりのお手伝いを共にイベント開催で協力することで行ってきました。	本指針では「商店街がにぎわいを生み出す」という行動目標を設定し、地域の商店街と都心部の商店街が交流できるような仕組みづくりや、それぞれの地区の個性を活かした商店街をめざした取組を進めていきます。
19	P29	記念事業を立ち上げる。ハード：カラフルな壁画（小中学生の協力を求めて）ソフト：区民音楽祭（多世代混声コーラス等）	区制70周年を、区内のすべての人々とともに祝い盛り上げていくために、本指針に沿って具体的な記念事業、イベント等の取組を検討、準備、実施していきます。検討、実施にあたっては、幅広い区民、企業等の参加を呼びかけ、特に次代を担う子どもたちの参加の機会が提供されるよう配慮していきます。
20		子ども、大人、お年寄り、外国人が手をとりあい、一緒になって楽しめるおまつりやバザーの開催（西区民まつりをもっと大きく！）	
21		お楽しみ会、レクリエーション、怖い話	
22		西区在住者が「トクをした」と思えるような、西区民優先権や先行予約のような特典付のイベントがあると思う。	
23	P25・28	中区初黄町内のちりめんやのウィンドウに旧横浜駅がプリントされた「手ぬぐい」が陳列されています。西区でも欲しい方が多いのではと思いました。	西区の歴史を紹介するグッズなど、西区ならでの名産品を生み出すこと等により、足をのぼしてそこに行きたくなる仕掛けを作っていきたいと考えています。
24	P37	横浜駅及び周辺の開発の歴史資料館を作ったらよいのでは？	常設展示が可能な施設とのコラボレーション等により、もともと西区に住んでいる人はもちろん、新たに西区に住みはじめた人も「西区の歩み」を知り、まちに愛着をもってもらうきっかけを作っていきたいと考えています。
25		今までの歩みをスライドで表す。食べ物や文化（衣類など）を実際に体験したり食べたりする。	
26		「西区の歩み」の展示は良いと思います。市電やトロリーバス（花電車）なつかしいです。横浜造船所やその関連企業に勤めていた方も多いため、懐かしく話題が広がり孫やひ孫との交流もできるのでは？	
27		西区の昔と今の風景を対比させて展示	
28	P36	キャラクターをもっとアピールしてみてもは。	西区のキャラクター「にしまろちゃん」、西区の花「すいせん」をはじめ、木・歌・踊り等の西区のシンボルを活用したPRにより、区民・来街者に区に対する愛着をもってもらう仕掛け作りをしていきます。
29		花いっぱい運動でまち中に西区の花水仙を咲かせたい。	
30	P29	各学校が協力し、まちの活性化への取組の発表会を行う。	西区の魅力を高め、にぎわいを生み出していくためには、みんなが地域の魅力を共有し、それを伝えていくことが大切です。特に次代を担う子どもたち、若者たちが魅力の発信者となれるような環境作りを進めていきます。

31	P26,P29	たのしい、おいしい、イイ気分になれるみんなが“大好きな場所”やお店を募って日本中にPRする。西区民は公式案内役を務める。	西区の魅力を高め、にぎわいを生み出していくためには、みんなが地域の魅力を共有し、それを伝えていくことが大切です。西区民が魅力の発信者となることで“わがまち西区”への誇りと愛着が生まれ「ひと」の魅力も高まっていきます。こうした「ひと」と「まち」の魅力を、みんなで力を合わせて広く発信していきたいと考えています。
32	P25	文化芸術を活かしたまちを作る。	文化や芸術も西区の大切な地域資源です。それらを活かしたまちの魅力づくりを行っていききたいと考えています。
33	P26・P35	来街者や企業が既成市街地側へ、既成市街地の住民が横浜駅やMM地区に参入していける取組があると良いと思います。MM地区にも住民が増えているので、西区全体でのひと・まちの交流が深まる取組があるとよいです。	既成市街地、横浜駅周辺、みなとみらい地区など多彩な顔をもつ西区のまちをつなぎ、回遊性を高めることで、人々の交流をうながす取組を進めていきます。
34	P26	川が多いので防災面を踏まえた周辺整備による景観づくり、集客	海に面し、川が多いなど西区ならではの地域特性を活かし、水面の活用についての方向性を検討していきます。
35	P26	市街地の中も起伏が大きい地形であるため、住民（特に高齢者）が移動しやすいよう地域交通の整備が必要。	区内は、傾斜の急な道路や鉄道線路など、行き来がしにくいところが多いため、既成市街地、横浜駅周辺、みなとみらい地区などの回遊性を高める交通手段について検討を進めていきます。
36	P27	各町会で工夫して行っている祭りやイベントを大事にして、各町会から連合、西区につながるような仕組づくり。	人々に守られてきた祭事や、思わず参加してみたいくなるような地域活動やイベントを通じ、まず住んでいる人どうしが、“顔の見える関係”づくりから始められるよう、区民と区役所が共通認識を持ちながら取り組んでいきたいと考えております。
37		若い世代が地域活動へ参加するきっかけづくりとなる取組	
38	P28	商店街が活性化できる仕組（エキサイトによって衰退しなように。）	昔ながらの人情あふれる地域の商店街、都心部の新しい商業施設など、それぞれの地区の持ち味を活かし、賑わいを生み出していく取組を進めていきます。
39	P27	防災や高齢者の見守りなど課題意識の高いことにつながる取組を通じて交流が深められるとよい。	区民の自主的な地域活動をより活発化させることで、地域の一体感を高め、子どもから高齢者、障害者まで安心して暮らせる「まち」にしていきたいです。
40	P28	横浜駅および駅周辺の大規模開発で、横浜への訪問客の増加が見込まれますが、実際に西区に住んでみると、高齢者・障害者・子育て家庭には、日常生活を送る経済活動（日常の買い物）には、きわめて不便なところが沢山あります。 大型店舗の進出に比例して、区政が中心となり、地元の商店街が区民の利用しやすいサービスを創出し、本気で「福祉商店街」としてのモデル地区を創設に取り組んで欲しいです。 現在、シャッター商店街と言われて久しい、西前・藤棚・久保町の三商店街をもっと、高齢者・障害者・子育て家庭が利用しやすくなるよう、行政の指導のもと商店街・利用者・支援者のニーズをとらえてほしい。	商店街と町内会、NPO、福祉施設が連携する取組などを進め、様々な人々が暮らしやすいまちを目指します。

41	P2	住民・商店街・学校・福祉・企業そして行政の6つの分野が協働した取組として「にしくみらい会議」を運営。	様々な人々が協働して取り組める環境を作り、知恵と工夫を結集して様々な取組を広げ、深めていきたいと考えています。
42	P28	【歩いて買い物ができて親しみを感じる商店街】 ・コミュニティバスや一休みができる道の途中のベンチの設置 ・生活必需品（地域のライフライン）の宅配サービス ・仕事帰りの時間帯（19時～20時）まで開いている予約置きセンターの運用 ・パソコン、携帯やコミュニティ紙による地域内のコミュニティ情報の受発信 ・楽しいイベントやパレードの実施 ・感謝の表現として提供できて、商店街、コミュニティバスでも使えることにより、地産地消を促す地域通貨の運用 ・小学生の商店街への実習受け入れや住民から先生の派遣など住民と学校の交流の推進	商店街の方々と連携しながら賑わいの仕組み作りを進めていきたいと考えています。
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50	P25・26・29・35	歴史スポットを盛り込んだ散歩マップ ウォーキングやスタンプラリー	西区の歴史や成り立ちを学べるマップの作成や、ウォーキングイベントや、スタンプラリーなどにより、西区に住み、働き、訪れる人々が「まち」の魅力を再発見できる仕掛けを検討していきます。
51	P29	身近な地域の歴史を学べる「まち歩き」のボランティアガイドの養成	西区の魅力を高めていくためには、みんなが地域の魅力を共有し、それを伝えていくことが大切です。地域の資源を紹介し、継続的に発信していくための人材を育てます。
52	P25	西区の名人・達人の活躍	地域で活動される方々も西区の大切な地域資源です。そのような方々の取組を西区の魅力の一つとして広く発信していきます。
53	P25	歴史を学ぶ講座の開催	西区に住み、働き、訪れる人々が、立場や年代を超えてまちの歴史や成り立ちを楽しみながら学び、語り合うことで西区への誇りと愛着を高められるような取組を進めます。
54	P25・P28	西区の逸品を区民から募集	西区の商店等の商品の発掘、再発見を通じて、区民の方々が西区の魅力を再認識し、商店街の賑わいを作り出す仕掛けを検討していきます。

③ 西区が今後どんなまちになっていくとよいと思いますか？			
NO	関連頁	いただいたご意見	ご意見に対する西区役所の考え方
55	P26	新・旧の「新」ばかりでなく、「旧」にも元気になって欲しいです！	町の台所ともいえる懐かしい商店街がある「昔ながらの町」、みなどみらい21地区などの「新しい街」、そして昔も今も多くの人々が行き交う「横浜駅」など、西区の「まち」は実に多彩な顔をもっています。横浜駅周辺に訪れる多くの来街者が、区内の魅力スポットを訪れる仕掛けを採り入れることにより、来街者を地域に送り出し、賑わいの輪を広げていきます。
56	P36	緑の多いまちへ。植樹を積極的に行い、緑豊かなまちになるとよい（樹種を統一）。	西区の木「もくせい」の植樹などにより、区民、来街者に区に対する親しみと愛着をもってもらい、地域コミュニティの活性化をはかることを目指します。

57	P27	高齢者にやさしい街づくり	西区に住んでいる人どうしが“顔の見える関係”をつくり地域の一体感が増し、子どもから高齢者・障害者まで安心して暮らせるまちを目指します。
58		子どもからお年寄りまで幅広い年齢層がバランスよくくらすまち。	
59		きれいなまち、人と人のかかわりが深いまち	
60		人と人とのつながり、温もりのあるまち。	
61	P25	古い建物には深い歴史があると思われま。安直に壊したりしない、なるべく近代科学の力で残して活用して語りつないでいってほしいです。	西区に住み、働き、訪れる人が西区のまちの歴史や成り立ちを楽しみながら学び、語り合える機会を作ることで、西区への誇りと愛着を高め、歴史を活かしたまちづくりのための土壌を作ります。
62		古い良さと新しい都市の魅力があるととても良い地域なのでこのままで。	
63		歴史を大切にしながら現代の西区を生かすまち。	
64		温故知新の通り、昔の良さを今に活かすようなまち。	
65		古い歴史を大切にしながら国際的に発展していくまち。	
66	P26	都市としての役割と憩いの場としての役割の調和。	既成市街地、横浜駅周辺、みなとみらい地区など多彩な顔をもつ西区のまちの個性を活かしたまちづくりを目指します。
67	P29	日本だけでなく、世界中に知られるみなとみらい（西区）に！美しい街！にしていきたい。未来的でありながら、なつかしさも残したまち。子どもがリードするまち！	西区の魅力を高めていくためには、みんなが地域の魅力を共有し、それを伝えていくことが大切です。特に、時代を担う子どもたち、若者たちが魅力の発信者となれるような環境づくりを進めます。
68		西区は交通の便が良く、外へ出てゆく人が多く、様々な施設も市の中では後からできる状態だった様に思います。発信できる町になればと思います。	
69	P25	文化芸術にふれられるまち	文化や芸術も西区の大切な地域資源です。それらを活かしたまちの魅力づくりを行っていきたくと考えています。
70	P27	高齢者や子どもなど、みんなが安心して楽しく暮らしていけるまちになっていくとよいと思います。特に、横浜駅や密集市街地を抱えているので、安全なまちづくりを進めてほしい。	住む人、働く人、訪れる人の交流を盛んにし、人と人との“つながり”を強める取組を進めることにより、子どもから高齢者・障害者まで安心して暮らせる「まち」にしていきます。
71	P26	横浜駅、みなとみらい21地区といった都心部と、それ以外の地区とのつながりが弱いので、ハードの面からもソフトの面からもつながりがもてるとよいと思います。	多彩な顔をもつ「まち」の空間と空間をつなぎ回遊性を高める取組を進めていきたくと考えています。
72	P26	西区はコンパクトにまとまっているので、徒歩や自転車や公共交通で、区内のアクセスしやすいまちになるとよいと思います。	区内の回遊性を高める交通手段の検討に取り組んでいきます。

④ その他「西区の温故知新！ひと・まち交流指針(素案)」についてのご意見・ご提案等をお聞かせください。			
NO	関連頁	いただいたご意見	ご意見に対する西区役所の考え方
73	P29	昔ながらの西区の良い面を若い人に知ってもらい、共に賑やかにしてほしいです。	西区の魅力を高めていくためには、みんなが地域の魅力を共有し、それを伝えていくことが大切です。特に、次代を担う子どもたち、若者たちが魅力の発信者となれるような環境づくりを進めます。
74		西区の歴史的魅力を見つけ発信してほしいです。	
75		小・中・高校生の思いを聞いてみたいと思います。	

76	P26	東横線跡地の整備が全く進展していない。津波避難場所の確保等を考慮して早急に取り組むこと。	東横線跡地については「自転車も通れる遊歩道や駐輪場」として整備を進めていますが、いただいたご意見も参考にさせていただきます。
77	P25・36	名所・旧跡が目につくように。	西区に数多くある開港にまつわる歴史旧跡などを紹介するサインの設置などにより、楽しみながらまちめぐりができるよう検討します。
78	—	60歳を過ぎて集まる同窓会では皆頭の中に「横浜」を描いて話しています。あまりめまぐるしく変わってほしくないのが本音です。同窓会めぐりなどいいかも！一本松小学校は珍しい同窓会があります。	今後の取組の参考にさせていただきます。
79	—	5つの目標を立てて取り組んでいくことがわかり、2年後の区制70周年がとても楽しみです。とてもわかりやすい素案です。	今後わかりやすい情報発信につとめ、みなさまからご意見をいただきながら進めてまいります。
80	P1・2	西区民のため、というより西区にある施設や名所に観光でおとずれる人のための施策という感じがします。もう少し西区在住者の視点から考えられればいいと思います。	この取組は、西区の魅力づくりを通して、西区に住み・働き・訪れる人々が一つになって、楽しみながらまちの魅力を高めていくことを目標にしています。
81	P27	ひとの交流に触れられているのがいい。	住む人、働く人、訪れる人の交流を盛んにし、人と人との“つながり”を強める取組を行っていきます。
82	P2	指針作って終わりにならないように。。。	この指針は、区制70周年、そしてさらにその先を目指し、西区の魅力づくりを通して様々な人々の交流が盛んになる取組を進めていくための基本的な考え方や大きな方向性をみんなで共有することを目的に策定するものです。この指針を出発点として、西区にかかわるすべての人々の知恵と工夫を結集して、様々な具体的取組を広げ、深めていきたいと考えています。